

在宅看護論実習～自宅実習中のZoom学習

<介護負担とレスパイトケア>



あれやこれや・・・今どきの介護は大変！
介護の疲れとストレスでもうクタクタ・・・

1. 介護者とは家族を指す。 答（ YES・NO ）

2. 介護者の続柄で最も多いのは？ 答（ ）

3. 同居の家族が介護している割合は？
約8割
約6割
約4割 答（ ）

4. 家族介護者のうち男性介護者の割合は？
約15%
約35%
約50% 答（ ）

5. 介護者の年齢で最も多いのは？

50歳代

60歳代

70歳代

答（ ）

6. 身の回りの介護でサービス担当者が行うことが多いのは？

入浴介助

食事介助

体位変換

答（ ）

7. 介護疲労・ストレスによって起こる問題を3つ答えなさい。

答（ ）（ ）（ ）

8. 介護疲労・ストレスの要因を3つ答えなさい。

答（ ）（ ）（ ）

9. 介護疲労の原因は医学や介護に関する知識不足である。訪問毎に介護する家族に指導し、セルフケア自立をめざす。

答（YES・NO）

10. 介護疲労による共倒れを防ぐため、家族が介護から開放される時間をつくることを何と言うか？

答（ ）

11. 10の具体的サービスを3つ答えなさい。

答（ ）（ ）（ ）

12. わが国は家族介護から社会全体で高齢者を支えるよう転換を図っています。そのシステムを何と言いますか？

答（ ）

13. 12を活用して療養生活を送るかどうかは、病状をもとに主治医が判断して決定する。 答（YES・NO）

14. 12の前提条件は「本人の選択」であって、「家族の心構え」は関係ない。 答（YES・NO）

15. 12では住環境が安全で健康的であるかは問題としない。 答（YES・NO）

16. 12では医療や看護が療養者と家族の生活を支えるため、退院前に病院の医療・看護と十分な情報共有を行う。 答（YES・NO）

17. 居宅での医療ケアで、経管栄養は誤嚥などの重篤な事故の危険性があるため訪問看護で実施する。答（YES・NO）
18. 居宅での医療ケアで、人工呼吸器の取り扱いが呼吸困難によって生命危機の危険性があるため訪問看護で実施する。
答（YES・NO）
19. 2025年問題とその重要性について説明しなさい。
答（YES・NO）
20. 家族の介護負担軽減のため、介護保険の地域密着型サービスでも多様なサービスが工夫されている。具体的には？
答（ ）

～学習のポイント～

- ◎介護といえば「**老々介護**」が有名ですが、**社会情勢**と共に家族介護も変化しています。
- ◎社会全体で介護するために、**地域包括ケアシステム**の構築が進められています。多様なサービスを学習しましょう。
- ◎家族の**介護負担**を軽減しつつ、療養者と家族が住み慣れた地域で生活できるよう考えましょう。

